

入れ歯の修理材と要介護者を主な対象にオーラルケア製品を開発

亀水化学工業株式会社

関西
21

<http://www.twin.ne.jp/~kamemizu/>



舌ブラシ「タングメイト」(左)
要介護者用舌ブラシ「フレッシュメイト ソフト」(右)

Company Profile

亀水化学工業株式会社

住 所 / 〒572-0071
寝屋川市豊里町17-16
創 業 / 昭和16年
設 立 / 昭和46年3月
資本金 / 3,000万円
従業員 / 20名
T E L / 072-826-7720
F A X / 072-826-1299

■主な事業内容

医療用具製造・販売、医療用具輸入・販売 等

■主な取引先

歯科用品卸売会社 等



口臭予防洗口剤「E-ブレス」

当社のセールスポイント

高齢化社会のニーズに
応えられる付加価値の
高い製品づくりを実践。



代表取締役社長
亀水 忠茂さん

企業は本来、儲けられない製品は作らないものですが、私は自分の関心があるもの、患者のためになるものならば、すぐに利益に結びつかない製品でも開発します。高齢化社会が進んでいくなか、今後はオーラルケアへのニーズがさらに高まります。それだけに当社には大きな使命があると受けとめて、よりよい製品づくりを通じて社会に貢献していきたいと思っています。



入れ歯修理材「DIL」

歯科医師の知識と経験を 生かした製品づくり

戦前から一貫して歯科向け医療器具を製造・販売する亀水化学工業。同社の亀水社長は大阪歯科大学大学院を含め、約6年間、患者の治療にあたった経験を持ち、現在、同大学院の高齢者歯科学講座の非常勤講師も兼務している。同社は社長自らが歯科医師である点が大きな特色であり、臨床の現場から見た製品開発により、歯科医療機器業界で常に目置かれる存在となっている。

入れ歯の床面の硬さが 一週間で変化する修復材

同社の主力製品のひとつが平成20年に販売を開始した、総入れ歯の修復材「DIL」。総入れ歯を使うためには歯科医師が入れ歯の床面に修理材(裏装材)を塗布して、かみ合わせの調整をしなければならぬ。従来、裏装材には、軟らか

いものと、硬いものの2種類あるが、それぞれ一長一短がある。軟らかいものは、使い心地は良いもののすぐに汚れ、硬いものは耐久性はあるが、使い心地が良くないものであった。

同社は「DIL」を含めて各種の裏装材を製造・販売しているが、患者に最適といえる一週間のタイミングで裏装材が硬化するのは「DIL」だけの特長で、もちろん他社製品にも例がない。亀水社長は「DILは当社が約20年にわたって商品改良を重ねてきた裏装材の集大成です」と語る。

要介護者向けを中心に オーラルケア製品を充実

同社はオーラルケアの概念が一般的でなかった約25年前に、日本で初めて舌ブラシを製造した。そして現在では、主として要介護者を対象にしたオーラルケア製品の開発に力を入れている。

寝たきりの高齢者は、飲み込む機能や咳をする力が弱くなり、口腔の細菌等が過って気管に入り易

いため、誤嚥性肺炎を起こし易く、それが死因につながるケースが多い。しかしこまめに舌や口腔内を磨くことで、そのリスクが低減できる。同社の「フレッシュメイトソフト」は自分で舌のケアができない要介護者向けの舌ブラシだ。最初に開発した舌ブラシは、自分で舌を磨くことを考えていたが、この舌ブラシは、他人が要介護者の舌を安全に磨くことが出来るように細かな配慮がなされているのが特徴である。

そのほかにも、口腔内の汚れやケアによる改善度が数値化できる検出培地や、口中が乾燥しやすい高齢者のための口腔保湿剤など、主に高齢者介護施設への需要が見込めるオーラルケア製品を中心に、多様な製品をラインナップしている。同社ではオーラルケア製品の販売を担う子会社のデントケアを設立。従来の取引先である歯科向け医療機器のルートだけでなく、介護施設や病院などの新しいターゲットに向けた販売ルートの開拓にも積極的に乗り出している。